

令和 7年 6月 1日

1989年4月から2027年11月の期間に産業医科大学病院産婦人科で悪性腫瘍の治療歴のある患者さんへのお知らせ

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた情報の記録に基づき実施する研究です。このような研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（令和3年3月23日制定 令和6年3月30日施行）」により、対象となる患者さんのお一人おひとりから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開するとともに、参加拒否の機会を保障することとされています。この研究に関するお問い合わせ、また、ご自身の診療情報が利用されることを了解されない場合は、以下の問い合わせ先にご連絡ください。利用の拒否を申し出られても何ら不利益を被ることはありません。

1. 研究課題名 婦人科悪性腫瘍の治療後生存期間に関与する因子の後方視的検討

2. 研究期間 2018年12月1日 ～ 2027年11月30日

3. 研究機関 産業医科大学産婦人科学教室

4. 実施責任者 産業医科大学 産科婦人科学 講師 原田 大史

5. 研究の目的と意義

産婦人科で悪性腫瘍の治療歴がある患者様の電子媒体あるいは紙媒体のカルテ記録を使用して、婦人科悪性腫瘍の原因や治療効果と関連する可能性のある要因を探し出すことを目的にしています。原因や治療効果と関連のある既存試料（ホルマリン固定後の摘出組織の残検体）を使用した研究も行います。

6. 研究の方法

当院の電子媒体あるいは紙媒体のカルテの記録あるいはホルマリン固定された病理検体を用いて、年齢・病歴・妊娠分娩歴・既往歴・アレルギー歴・輸血歴・血液検査や画像検査の結果・薬剤の使用歴あるいは使用期間・手術療法あるいは化学療法の治療歴・治療後の効果判定・治療期間のデータを整理して研究に使用しますので、患者さんに肉体的なストレスのかかる研究ではありません。使用する記録は個人が特定できない方法で管理しますので、個人情報の漏洩のリスクを避けるようにしています。

7. 個人情報の取り扱い

本研究に使用する電子カルテから取得された情報等は研究実施担当者により完全に匿名化され、匿名加工情報として厳重に管理を行います。

本研究へのカルテデータの利用を希望されない方は、産業医科大学産婦人科学教室まで御連絡を頂きますようお願い申し上げます。

本研究は匿名化された情報を使用する為、個人を特定することは不可能であり、研究情報の個別の開示は対応できません。

8. 問い合わせ先

産業医科大学 産科婦人科学教室 講師 原田 大史
福岡県北九州市八幡西区医生ヶ丘 1-1
電話番号（093）691－7449

9. その他

研究への参加に対する、直接的な利益はありません。また費用の負担や謝礼もありません。本研究は、本学講座研究費を使用して実施します。一切の利益相反はなく、産業医科大学利益相反委員会の承認を受けており、公平性を保ちます。